MacBook Pro 15" Unibody Late 2011のRAMの交換

MacBook Pro 15" Unibody Late 2011 RAMのRAMの交換

作成者: Miroslav Djuric



ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2022-10-25 03:13:16 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

はじめに

コンピューターのRAMにアクセスするのは簡単で、最小限の解体が必要です。

ツール:

- プラススクリュードライバー(#00) (1)
- スパッジャー (1)

部品:

- MacBook Pro 15" Unibody Late 2011 Memory Maxxer RAM Upgrade Kit (1)
- PC3-10600 2 GB RAMチップ (1)
- PC3-10600 4 GB RAMチップ (1)
- PC3-10600 8 GB RAMチップ (1)

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2022-10-25 03:13:16 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸ,

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。
  - 13.5 (14.1) mm プラスネジー3本
  - 3 mm プラスネジー7本

このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

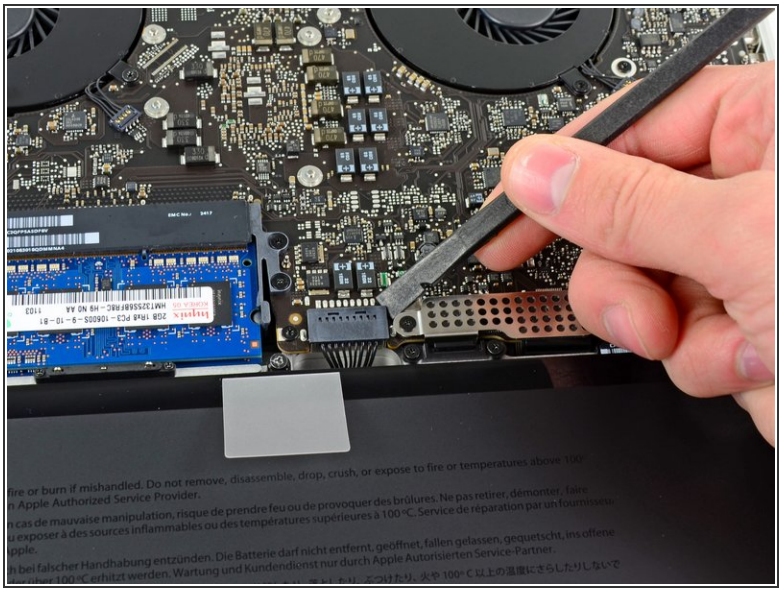
手順 2

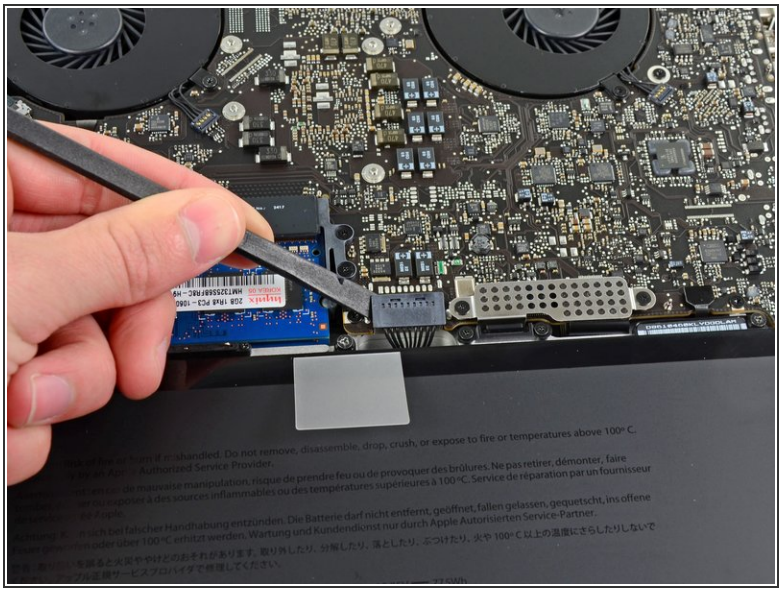


- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。
- 底ケースを取り外して脇に置きます。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 3 — バッテリーコネクタ





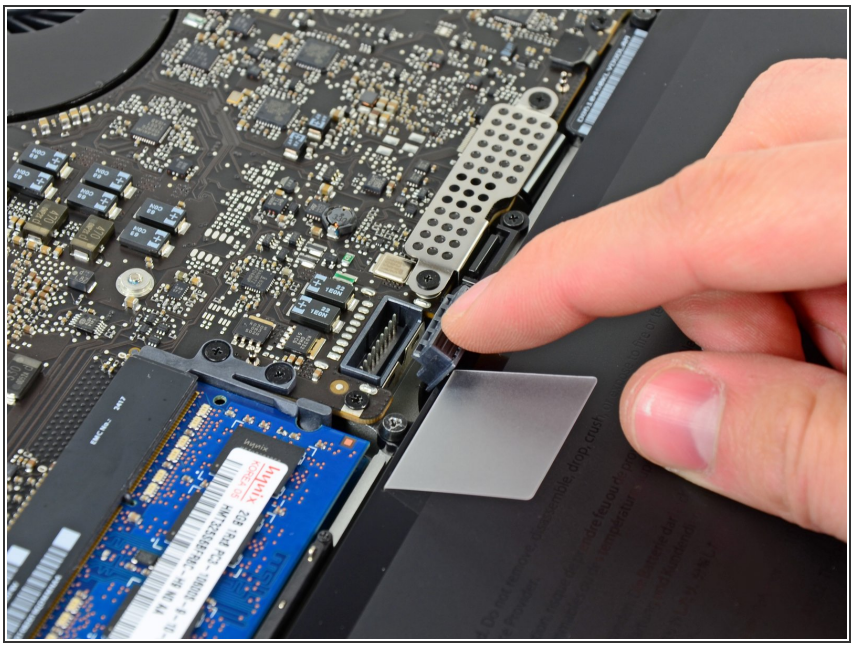
※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクターをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

ソケットから接続を外す際、コネクターの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 4

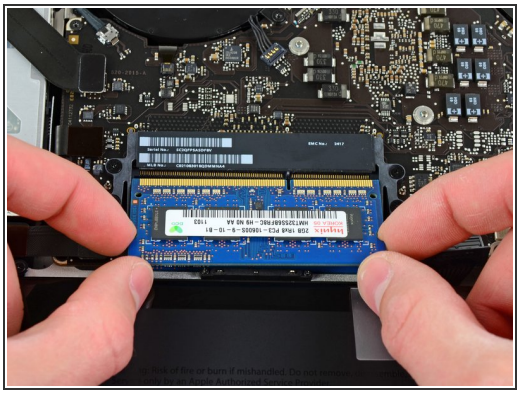


- バッテリケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — RAM







- RAMモジュールから両側のタブを同時に両サイドへ引き、RAMチップの各サイドに付いているタブを解放します。

これらのタブがチップを固定し、外すときは”飛び出す”ようにチップが外れます。

- RAMが飛び出した後は、まっすぐソケットから引っ張ります。

2番目のRAMチップをインストールする場合はこのプロセスを繰り返します。

© iFixit — CC BY-NC-SA

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2022-10-25 03:13:16 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚